

名称等	上皇上皇后両陛下から下賜された <small>なつめ</small> 棗、 <small>ろぶち</small> 炉縁の報道機関への公開について
日時	令和元年12月16日（月曜日）10時30分から
会場	特別応接室
担当	都市計画部 緑地公園課
	直通 055-934-4796 内線 2691

令和元年11月27日に、平成6年に沼津市から献上した、棗、炉縁が下賜されました。御下賜品を市では令和元年12月23日から沼津御用邸記念公園 松籟亭で展示いたします。つきましては、市長出席のもと、展示の前に報道取材の機会を設けますので取材方お願いいたします。

1 経緯

平成6年ごろ、御用邸内で伐採された松の古材を使って、山中塗の塗師・まえはたがほう 前端雅峯氏が漆器などを制作され、棗、炉縁などが沼津市へ寄贈されました。

平成6年4月15日に天皇皇后両陛下（当時）が沼津市へ行幸啓された際、当時の沼津市長も御懇談の機会を頂きました。その後、市として、寄贈された棗、炉縁を献上することを検討し、同年5月12日に市長が皇居を訪れ両陛下に献上しました。

この献上された棗、炉縁はその後長年、両陛下がお手元で大切にされてきましたが、今回、御譲位され、吹上仙洞御所からお移になるに当たり、沼津御用邸の松で作られたものであるため、ゆかりの地に戻して、沼津御用邸記念公園で展示する等の形で利用されるのが望ましいとの上皇上皇后両陛下のお考えから、沼津市へ下賜されたものです。

2 御下賜品について

棗とは

抹茶を入れるのに用いる茶器の一種。植物のナツメの実に形が似ていることから、その名がつけられたとされる。

炉縁とは

炉の炉壇の上にかける木の枠。

3 一般展示について

場所 沼津御用邸記念公園 松籟亭

日時 令和元年12月23日から令和2年1月22日 9時から16時30分